

## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	農地防災室	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地防災室長 矢部誠一 (寺西恒美)	内線	4005 (4018)
------	-------	---------------------	--------------------------	----	----------------

事業種目	魚道整備	事業名	事業区間	総事業費	約 3 億円
		地域用水環境整備事業 (単独魚道整備)	河東地区	内用地補償費	0.09 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
宍粟郡山崎町野々上			H15	H15	H18
事業目的			事業内容		
適正な水資源の配分、水質の保全、河川の生態系保護等河川の正常な機能を維持するため、河川に設置された農業水利施設からの適切な放流量の確保等を目的として魚道の新改築等を実施する。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・左岸側魚道の改築 「バーチカル型式魚道」 1ヶ所 70m</li> <li>・右岸側魚道の新設 「粗石付曲斜面式魚道」 1ヶ所 33m</li> </ul> <p style="text-align: center;">(国：50%、県：50%)</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<p>揖保川は、全国の1級河川水系でワースト3まで水質の悪化がみられたが、近年の水質改善への様々な取り組みによって、平成7年には天然アユの遡上が確認されるまでになった。しかし河東統合頭首工は落差が3m以上あり有効な魚道が必要であるが、既存の魚道は魚の遡上に障害があると評価されており、淡水魚の生息環境を連結し、生息分布の拡大を図るためには魚道の新改築が必要である。単独で魚道整備が実施できるのは当該事業のみであり、この制度を積極的に活用し魚道整備の促進を図る。</p>				
(2)有効性・効率性	<p>本魚道の改修により揖保川水系における淡水魚などの生息環境保全のみならず、「森・川・海再生プラン」の一環として回復の兆しが見えかけた生物相の維持保全の早期化が可能となる。また、地域住民、漁協からの要望も高く、協力体制も整っている。事業投資効率は1以上である。</p>				
(3)環境適合性	<p>ハード事業に先行し、「魚を育む流れづくり推進対策事業(ソフト事業)」を実施し、揖保川水系に生息する魚介類の調査を行っており、これら魚種の本来あるべき生息環境を復元しようとするものである。 なお、右岸側新設魚道は、河床から採取した粗石を使用し、できるだけ自然に近い整備計画としている。</p>				
(4)優先性	<p>近年の多様な水需要調整に対応するため、魚道の新設改修により、一定量の流下を確保する。 また、上流から下流への一貫した流れを確保し、水産資源の増殖を図りつつ豊かな自然環境の創出に努めるため早急に対応する。 既設魚道は魚の遡上に障害があり、生息環境が分断されているため当事業により淡水魚などの生息環境を連結し、生息分布の拡大を図る。 なお、本事業は「森・川・海再生プラン」の先導事業として位置づけている。</p>				